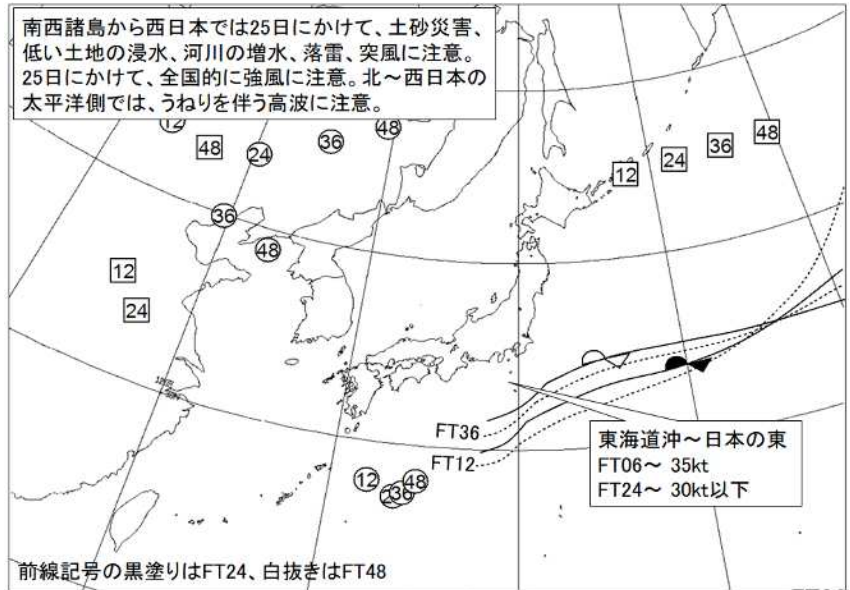


### 1. 実況上の着目点

- ① 日本の南には低気圧があつてゆっくり東南東進。
- ② 日本のはるか東に低気圧があつて東北東進。この低気圧から、前線が四国の南にのびている。
- ③ 大陸から東西に連なった高気圧が日本付近に張り出している。高気圧の縁辺をまわる北東からの下層寒気が北～東日本に入り、弱い雨の降っている所がある。
- ④ ①の低気圧や②の前線と③の高気圧との間で、気圧の傾きが大きくなっており、全国的に強い風の吹いている所がある。海上では波が高くなり、しけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は日本の南をゆっくり東進。低気圧周辺の下層暖湿気や、日本の南に張り出す太平洋高気圧の縁辺をまわる下層暖湿気が流入し、九州南部と南西諸島では25日にかけて、大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風に注意。
- ② 2項①の低気圧周辺の下層暖湿気や、1項③の高気圧の縁辺をまわる下層暖湿気の影響で、25日にかけて西日本で大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風に注意。
- ③ 1項③の高気圧は、25日にかけて千島の東に移動し引き続き日本付近に張り出す。1項②の前線との間で気圧の傾きの大きい状態が続くため、引き続き全国的に25日にかけて強い風が吹く所がある。また、吹送距離の長い東よりの風の影響で、西～東日本の太平洋側では、うねりを伴って波が高くなり、しけとなる所がある。25日にかけて全国的に強風に注意し、北～西日本の太平洋側ではうねりを伴う高波に注意。
- ④ 1項②の前線上に26日までに低気圧が発生し北東に進む見込み。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、1項③の高気圧の周囲をまわる下層暖湿気の影響も加わって、北～東日本で25～26日は大気の状態が不安定になって激しい雨が降る所がある見込み。今後の前線や低気圧の動向に留意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量子想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項④の低気圧については、MSMは発達させ過ぎている傾向があるため、利用には留意のこと。

**4. 防災関連事項 [量的予報等]** ①雨量(06時からの24時間)：四国100mm。②波浪(明日まで)：伊豆諸島5、関東・近畿4、東北・東海・四国・九州北部・九州南部・奄美3m。③高潮(明日まで)：東日本で注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。